

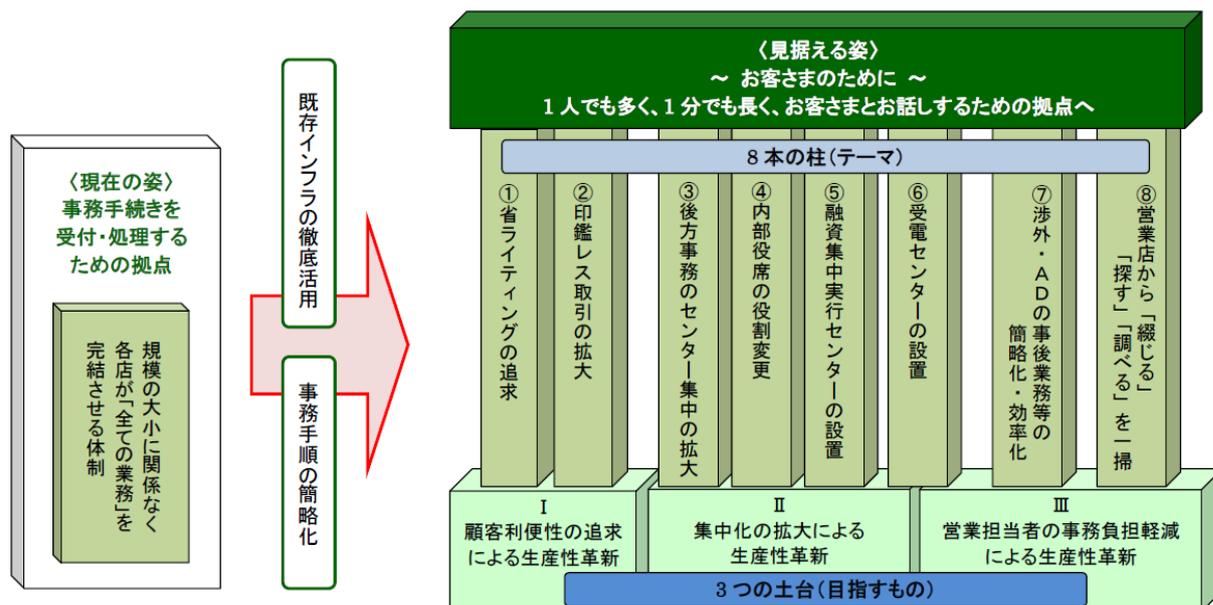
より一層の “コンサルティング機能の発揮～つなげる～”に向けて ～ 生産性革新の基本方針を策定 ～

京都銀行(頭取 土井 伸宏)は、本年2月に生産性革新本部を設置し、全行横断的な取り組みとして、営業店業務の抜本的な改革による生産性革新の方向性を検討してまいりました。今回、中期経営計画「Timely & Speedy」、現場の声である4000人の当行行員の生産性革新に向けた「提言」、本部各部での検討等を踏まえて、下記のとおり基本方針「当行が見据える生産性革新の方向性」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 基本方針「当行が見据える生産性革新の方向性」の概略

広域型地方銀行の当行ならではの強みである173か店のネットワークの力を最大化するために「顧客利便性の追求による生産性革新」など3つの生産性革新を「土台」(目指すもの)として位置付けるとともに、AI等を活用した最先端技術も取り入れながら「8本の柱」(主要テーマ)への対応に取り組んでまいります。更なるお客さまの利便性向上等へとつなげる生産性革新の取り組みにより、**営業店を～お客さまのために～「1人でも多く、1分でも長く、お客さまとお話するための拠点へ」と変え**、本年4月からスタートした中期経営計画「Timely & Speedy」のメインテーマである**「コンサルティング機能の発揮～つなげる～」**を一層進化できる体制を構築いたします。



2. 諸施策の取り組みについて

3つの生産性革新の「土台」（目指すもの）と「8本の柱」（主要テーマ）に基づく諸施策については、平成30年度末までの約2年間で成果を最大化するべく、準備が整ったものから順次実施してまいります。

【ご参考：生産性革新本部の概要】

名称	生産性革新本部
構成	【本部長】 取締役頭取 土井 伸宏 【副本部長】 専務取締役 人見 浩司
事務局	【事務局長】 執行役員 幡 宏幸 【人員】 7名（事務局長を含む）
設置日	平成29年2月1日

以 上